



## 卒業生 植原涼さん 宮崎日日新聞掲載

1月24日（水）発行の宮崎日日新聞に、先日紹介したアメフト大学選手権で優勝に貢献した卒業生の植原涼さん（H27年卒）が掲載されました。

植原さんは、日大中・日大高校と本校に6年在籍し、在籍中はサッカー部でGKとして活躍。現在は日本大学スポーツ科学部に進学しています。

掲載日:2018年01月24日、 匿名:スポーツ、 記事ID:K1J20180124\_01016000101104003

(C)宮崎日日新聞社

# 技術さらに磨きたい



学生日本一となった昨年末の甲子園ポウルを振り返る日大の植原涼（那良卓郎撮影）

甲子園球場で昨年末、開催されたアメリカンフットボールの全日本大学選手権決勝（甲子園ポウル）を27年ぶりに制した東日本代表の日大（関東）宮崎市出身の植原涼（宮崎日大高出身）はスタメン出場し、優勝に大きく貢献した。競技歴2年に満たない中で存在感を示した2年生は「大学日本一は大きな自信になった。スキルをさらに磨き、活躍を狙いたい」と意気込んでいる。サッカー少年だった植原。宮崎日大中時代はGKで県選抜メンバーにも選ばれた。高校入学後もGKを続けたが、3年次はスタメン落ち。大学でサッカーを続けるか迷っていた時、サッカー部の南光監督から「アメフトに挑戦してみないか」と勧められた。

## 目標は大学日本代表

日大アメフト部フエニックスは当時、学生王者20回、日本選手権（ライスボウル）では学生唯一の3連覇を果たしていた名門。トライアウトに合格した植原は、1年時は主にキッカーを担当。U-19日本代表候補にも選出されるなど頭角を現した。2年からは、50分6秒の脚力や俊敏性、GKで培った瞬発力などが評価され、オフライン（OL）に転向。OLの中では177号と小柄で、入部当初74kgだった体重は、1日6〜7回の食事で94kgまで増加。重くて速いOLを目指し、過酷な練習に耐え、努力を続けた。

初スタメンを果たした昨年の甲子園ポウルでは、抜群の判断力で瞬時に2人の相手ディフェンスをブロックするなど活躍。ランニングバックの走路を切り開いてタッチダウンをアシストし、21度目の学生日本一に貢献した。

3日あったライスボウルでもスタメン出場を果たしたが、富士通に9-37で敗戦。しかし、外国人選手などのプレイを目的の当たりでし刺激を受けた。国際試合挑戦にも興味が出てきた。プレイの理解度を深めるなどスキルアップし、大学日本代表に入れるよう頑張ると、アメフトに懸ける向上心は増すばかりだ。（宮本武英）

アメフト大学選手権優勝に貢献  
日大2年、宮崎市出身  
植原 涼